

宇部市本庁舎建設基本計画



平成28年8月

宇部市

(空白)

はじめに

昭和33年に建設された市役所本庁舎は、建設から58年が経過し、施設・設備の老朽化や耐震性に加え、防災拠点機能、ユニバーサルデザインへの対応や窓口レイアウト等、建物の性能や機能面でも多くの課題を抱えています。

また、平成23年3月に発生した東日本大震災では、多くの自治体において、本来、救援・復旧の拠点となるべき庁舎にも被害が出たことから、災害応急対策に大きな影響を及ぼすこととなりました。このことから、災害時における防災拠点施設としての本庁舎の重要性が改めて認識されたところです。

このため、市では本庁舎の建替えを喫緊の課題とし、市議会特別委員会からの報告や市民51人の委員で構成する「宇部市本庁舎建設検討市民委員会」からの提言を尊重しながら、平成27年3月に新庁舎建設の基本方針を取りまとめた「宇部市本庁舎建設基本構想」を策定しました。

また、基本構想の検討と並行して、隣接する宇部税務署との一体的な整備に向けて、国との協議を進め、平成28年4月に市庁舎と宇部税務署との合築について基本的合意に至りました。

本計画は、基本構想で掲げた基本理念「つながって、みんなでつくる 無駄がなく 美しい市民自治の拠点」や7つのコンセプトを受け継ぎ、今後の設計において、基本的な条件となる、新庁舎の機能や規模、概算事業費等の考え方を整理したものです。

今後は、この基本計画に示す方向性に沿って、新庁舎建設に向け詳細かつ具体的な検討を進めていくこととなりますが、新庁舎が単なる行政庁舎にとどまらず、市民の交流の場、まちづくりの拠点として、中心市街地に大きな波及効果をもたらす「にぎわい創出に向けたプロジェクト」となるためには、市民の皆様が積極的に庁舎づくりに参画し意見や知恵を出しあっていただくことが必要と考えていますので、市民の皆様をはじめ、関係機関・団体の皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、本計画策定に当たり、市民ワークショップやアンケートなど様々な機会を通じて貴重なご意見をお寄せいただいた市民の皆様、ご審議をいただきました宇部市本庁舎建設基本計画検討委員会の皆様に心からお礼を申し上げます。

平成28年8月

宇部市長

久保田右子



目 次

第1章 本庁舎の現状と新庁舎の必要性	
1-1. 本庁舎の現状及び問題点と課題	1
1-2. 新庁舎建設の検討経緯	7
第2章 新庁舎建設の基本的な考え方	
2-1. 基本計画の考え方	8
2-2. 新庁舎の性能と機能	12
第3章 新庁舎の規模と配置	
3-1. 新庁舎の規模	22
3-2. 税務署との一体的整備	27
3-3. 新庁舎の敷地と配置計画	28
第4章 事業計画	
4-1. 事業手法	31
4-2. 概算事業費及び財源	35
4-3. スケジュール	36
4-4. 施設管理・運用に関する考え方	37
第5章 今後の進め方について	39
資料編	41

※本文中の(*)は、資料編に用語解説のある語句を示します。